報告

第12回ファジィシステムシンポジウム報告

五百旗頭 正*

1. はじめに

第12回ファジィシステムシンポジウムは、前回の沖縄での案内のとおり、都の西北早稲田の杜、早稲田大学国際会議場で「ソフトコンピューティングへの統合を目指して」をテーマに6月4日(火)から6月7日(金)まで開催された。また前日の6月3日(月)は「ソフトコンピューティング ～キーテクノロジーとその適用～」と題して、第12回ファジィシステムシンポジウム講習会が催された。シンポジウム参加者数は469名、発表論文件数は298件、論文集は総ページ数で約1000ページとなり共に過去最高であった。ここにシンポジウムの状況を報告する。

2. シンポジウムの状況

今回は前回、前々回のシンポジウムおよびパレルセッション可能数を考慮して4日間とした。

写真1: 書家川淵優先生による立て看板

特別講演はRWCPの岡隆一氏による「リアルワールドコンピューティングと情報統合」、早稲田大学の大槻義彦氏による「火の玉の科学」の2件、シンポジウムのテーマである「ソフトコンピューティングへの統合」を目指すために、一般セッション数を56セッション(発表件数175件)に抑えオーガナイズドセッションを増やす事とし、最終的には39のオーガナイズドセッション(発表件数123件)を組み、学会員以外の方にもオーガナイザーをお願いした。また、今回は英語セッションを特に設けず、一般セッションの中に含み入れた。前回の沖縄で好評だったピアセッションは、今回は単独セッションにして多くの方の参加を期待した。

第1日目は、セッション終了後に総会を行い、最後にピアセッションを開催した。ピアセッションは向殿政男氏(明治大学教授)に司会およびパネラー一人選をお願いし、寺野寿郎氏(東京工業大学名誉教授)、石川昭氏(青山学院大学教授)、古橋武氏(名古屋大学助教授)、菊池浩明氏(東海大学講師)の年齢層の異なった方々が、パネラーとして思い思いにファジィやソフトコンピューティングについて

写真2: ピアセッションの様子

* Tadashi IOKIBE
榊明電舎

熱弁をふるわれた。会場との討論は司会者が困るほど活発に行われ、予定の時間があつという間に過ぎ去ってしまった。

第2日目は、岡隆一氏による RWCP での情報統合についての特別講演が行われた。詳しくは別途学会誌に掲載される予定であるが、この情報統合はソフトコンピューティングの目指す所と共通するものがある。高木友博氏(松下電器)によるマルチメディアコンテンツクリエーションと科学技術セッションは、急遽会場を特別講演と同じ井深大記念ホールに変更し、午前中から準備を始めあわやかと思われたが辛うじて間にあった。このセッションはコンピュータ、映像機器、音響機器、通信機器等をふんだんに用いて行われた。全てのセッション終了後、会場を大隈ガーデンハウスに移し懇親会が催うされた。懇親会は日本ファジィ学会(ファジィ研究者?)の伝統により、「ファジィに始まりファジィに終わる」ことをモットーに整然(?)と行われた。途中、浅居喜代治名誉会員による乾杯、田中英夫会長挨拶、曲徳麟中国大使館参事官挨拶、そして中島信之富山大学教授から第13回ファジィシステムシンポジウムの案内があった。予定では19時から挨拶を始める予定であったが、盛り上がりが激しく30分繰り上げざるを得なかった。

第3日目は、早稲田大学の大槻義彦氏による特別講演「火の玉の科学」が行われた。自然界での火の玉や、人工的な火の玉発生実験にまつわる話など火の玉現象を科学的に解き明かす、多くの人の興味を引く講演がなされた。会場からは、遠い昔の経験に基づく火の玉に関する質問などが出され盛況であった。

第4日目は、最終日であるにも関わらず通常のシンポジウムと異なり、最後まで多数の方の参加があった。

発表内容はプログラム(学会誌 Vol.8 No.2)のようにソフトコンピューティング分野を網羅しているが、個々の技術の融合が今後の課題といえる。ファジィブームも過ぎ去り、参加者数が伸び悩ん

写真3：懇親会の様子

でいた時期もあったが、今回のシンポジウムを見ると、ファジィはソフトコンピューティングの統合へ向かって着実にその裾野を広げている。

3. おわりに

1年以上前からシンポジウムの準備を行ってきたが、終わってみればあつという間の4日間であった。これも多くの方々のご尽力ご支援によるものである。

会場入り口の立て看板は書家川淵優先生(早稲田実業講師)によるもので、ファジィの持つ人間の暖かさ、力強さ、優しさを感じたのは私だけではなかったはずである。

キリンビール(株)からビール、ノンアルコール飲料を、(株)日立製作所からは手提げ袋のご寄付を頂いた。オムロン(株)、サイバネットシステム(株)、東芝エンジニアリング(株)、東洋電機製造(株)、(株)日立製作所、(株)明電舎、朝倉書店、共立出版、(株)住建産業から広告掲載を頂いた。本シンポジウム関係役員を代表して、紙上をもって厚く感謝する。

[問い合わせ先]

第12回ファジィシステムシンポジウム組織委員長
五百旗頭 正
〒103 東京都中央区日本橋箱崎町 36-2
株式会社明電舎
システム技術部システム開発課
TEL: 03-5641-7507
FAX: 03-5641-9303
E-mail: iokibe-t@honsha.meidensha.co.jp